

# 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ懇談会(もりこん) 148		
タイトル	「暦の話」旧暦についての奥深い話		
実施日時	平成29年10月21日(土) 15:00~16:45		
実施場所	船橋中央公民館第1和室		
受講者	7名	FIC会員	7名

## 活動の内容

講師は千葉県森林インストラクター会で気象予報士兼旧暦愛好家の元岡真也さん。

今回は「元ちゃんの今年の天気・来年の天気」を寄稿していただいている旧暦愛好家（通称：キュウレキスト）である元岡講師より、「旧暦を知れば季節が分かる」「季節を知って旬を感じよう！」をテーマに話題提供していただいた。

皆さんは、暦について不思議に思ったことはありませんか？

例えば

「なぜ、これから寒くなる1月1日を『新春』とか『迎春』とか言うの？」

「3月3日頃は梅の季節なのに、なぜ『桃の節句』と言うの？」

「梅雨の季節なのに『水無月』とはこれ如何に？」

「2017年10月4日の夜の月がなぜ『十五夜月』？」

「赤穂浪士の討入りの十二月十四日が大雪？」

旧暦を知れば、これらの疑問がたちどころに氷解！

まず、旧暦とは…

月と太陽の運行を両方取り入れた、いわゆる太陰太陽暦のことで、日本では604年から1872年（明治5年）まで、1300年近くも使用されてきた暦。

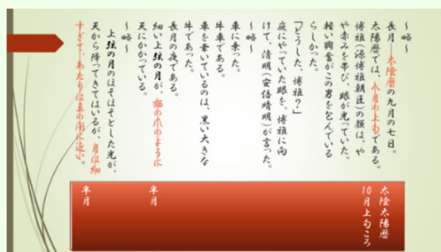
旧暦の一年は354日で、太陽暦との差（一年で11日）を調整するため、19年に7回、約一ヶ月の閏月が入る。日本における「農曆」であり、「生活暦」であり、そして「自然暦」である。

もりこんでは、旧暦の仕組み、日本の暦の歴史等につき説明があった後、参加者で、夢枕獏さんの小説「陰陽師」※『墓（ひき）』の章における間違い探しを行った。先日もNHKで『月』を題材にした番組が放送されていましたが、旧暦をよくご存じのない方が作られたのでしょうか、けっこう間違いがあったとのことでした。

※平安時代の天文や暦の専門家である安倍晴明を主人公とした物語。

★夢枕獏さんの「(陰陽師) 墓」より間違い探し

★南太平洋協会の旧暦カレンダーより  
「2017年の天候予想」



### 【疑問への回答案】

旧暦の春は一月から三月。一月一日は春の初日。まさに新春です。

旧暦の三月三日は新暦3月後半から4月初旬頃。桃の季節ですね。

梅雨の季節は旧暦五月。旧暦六月は梅雨明け後、水の枯れる月。/「無」は現在の「の」と同じ使い方で、「水の月」つまり田に水を張った月、との説もあり（諸説あり）。

旧暦の日付けは月で決まり、一日は新月、十五日は満月。今年（2017年）の中秋の名月は新暦10月4日。

十二月十四日は旧暦の日付けで、新暦で言えば1703年1月30日。大雪でもおかしくない。